

TOPコレクション  
イメージを読む

TOP Collection:  
Reading Images

# 1 コロラド州クレムリング

W.ユージン・スミス  
W. Eugene Smith

# 2 軍艦島

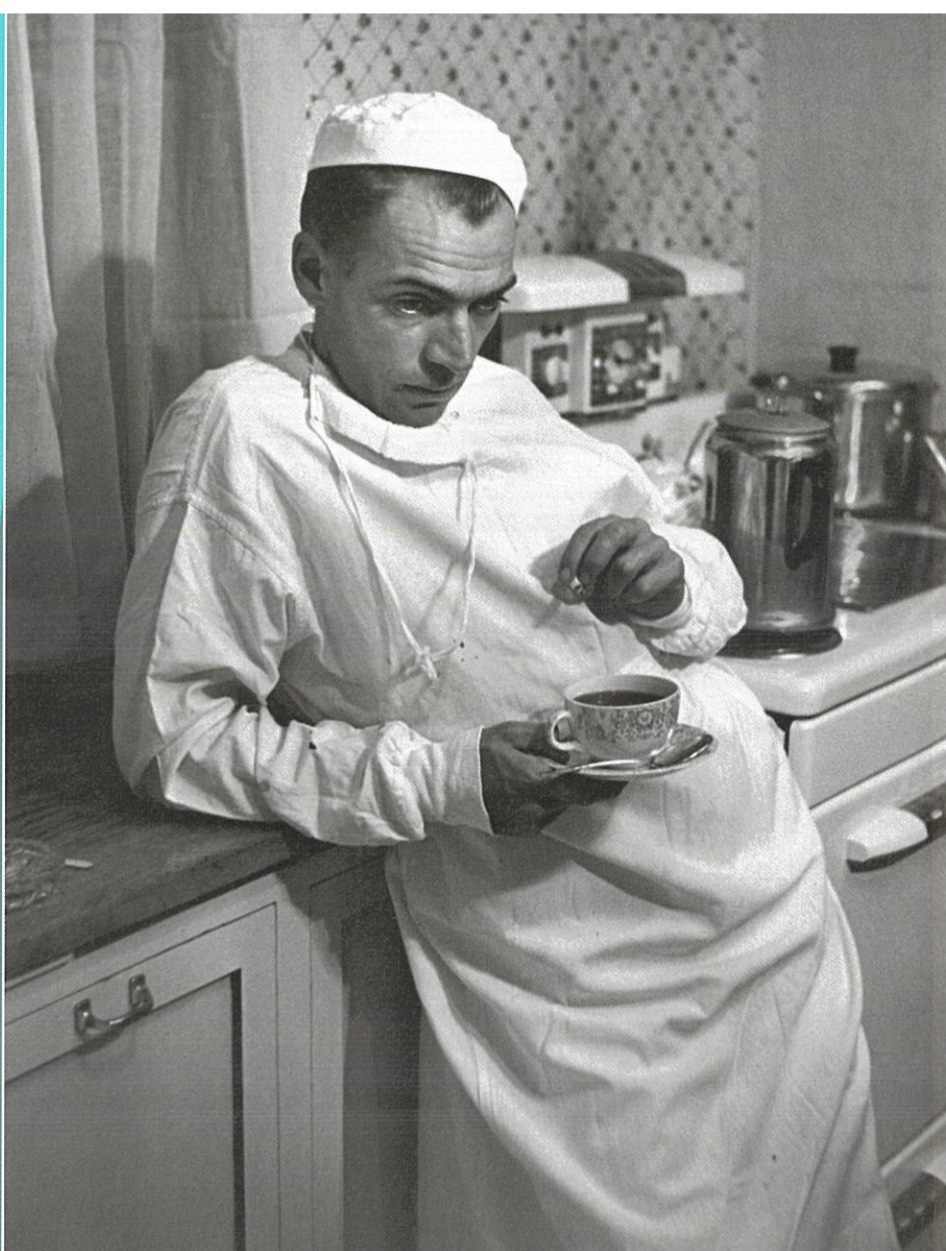
奈良原 一高  
Narahara Ikko

# 3 出羽三山

内藤 正敏  
Naito Masatoshi

# 4 調布周辺

山崎 博  
Yamazaki Hiroshi



W.ユージン・スミス《夜通して手術を行った後、台所で休むセリアーニ医師、コロラド州クレムリング 1948年》  
〈カントリー・ドクター〉より 1948年©2019 The Heirs of W.Eugene Smith/PPS

## 場所をめぐる 4つの物語

The Stories of Four Places

2019.5.14(火)  
— 8.4(日)

東京都写真美術館 3階展示室

主催：東京都 東京都写真美術館

協賛：凸版印刷株式会社

開館時間 / 10:00 - 18:00(木・金は20:00まで)

ただし、7月18日(木) - 8月2日(金)の木・金は21:00まで開館。※入館は閉館30分前まで

休館日 / 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日、振替休日の場合、翌火曜日休館)

観覧料 / 一般 500(400)円 / 学生 400(320)円 / 中高生・65歳以上 250(200)円

※( )は20名以上の団体料金 ※小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害をお持ちの方とその介護者は無料

※第3水曜日は65歳以上無料 ※7月18日(木) - 8月2日(金)の木・金17:00 - 21:00はサマーナイトミュージアム割引  
(学生・中高生無料、一般・65歳以上は団体料金)(各種割引の併用はできません)

TOP MUSEUM

文化でつながる。未来をつなげる。  
Tokyo Tokyo  
FESTIVAL



TOPコレクション  
イメージを読む

TOP Collection:  
Reading Images

# 場所をめぐる 4つの物語

## The Stories of Four Places

2019.5.14(火)  
— 8.4(日)

東京都写真美術館 3階展示室



1. W.ユージン・スミス〈セリアーニ医師とリー・マリー・ウィートリー、2歳6ヶ月。馬に頭をけられて救急処置を受けた。コロラド州クレムリング 1948年〉  
(カントリー・ドクター)より 1948年 ©2019 The Heirs of W.Eugene Smith/PPS
2. 奈良原一高〈アパートの道〉(人間の土地 緑なき島—軍艦島)より 1954-57年
3. 内藤正敏〈出羽三山〉より 1980年
4. 山崎博〈Ten Points Heliography〉より 1982年

TOPコレクションは東京都写真美術館の収蔵作品を紹介する展覧会です。今年のテーマは「イメージを読む」。作品という視覚的なイメージとその読み解き方を考えます。本展は35,000点を超える当館コレクションから選び抜かれた個々の作品や、複数点からなるシリーズ作品をとおして、それぞれが語りかけてくる物語に着目します。作品の背後にある意味やお互いを結びつける関連性を浮かび上がらせることで、さらに写真というメディアの普遍性にも目を向けることで、「イメージを読む」という豊かな鑑賞体験へと観客の皆様を誘います。

5月に始まる第1期は「場所をめぐる4つの物語」を取り上げます。それぞれの作家たちは、あるひとつの場所や地域を深く見つめ、その場所に固有の生活や風景、出来事をとらえるだけでなく、現実的な事象からさらにその向こう側

にある隠された物語の本質や普遍的な意味をとらえ、写真やテキストの形で展示を構成します。

本展では、「場所」と密接にかかわった4つのアプローチを取り上げて、そこから生まれる物語的な世界の広がりを見つめていきます。



### 展覧会担当学芸員によるギャラリートーク

5月17日、6月7日、6月21日、7月5日、7月19日 各(金)16:00より、  
7月26日(金)18:00より。  
本展チケット(当日消印)をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

### 手話通訳つきギャラリートーク

上記のギャラリートークのうち、下記の日程は手話通訳つきで行います。  
日時：6月7日(金)、7月5日(金)16:00より、7月26日(金)18:00より  
本展チケット(当日消印)をご持参のうえ、3階展示室入口にお集まりください。

### じっくり見たり、つくったりしよう!

暗室での写真作品の制作を体験したり、展示室で作品について楽しく話し合ったり、一度にさまざまな体験ができるプログラムです。\*作品解説ではありません。  
日時：2019年7月27日(土)、28日(日)いずれも10:30-12:30  
対象：小学生とその保護者(2人1組) / 定員：各日10組 事前申込制 先着順  
参加費：800円(別途本展観覧チケットが必要です)  
\*申込方法など詳細は当館ホームページでご確認ください。

### 視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

障害の有無にかかわらず、多様な背景を持つ人が集まり、展示室で言葉を交わしながら一緒に美術を鑑賞するワークショップです。  
日時：2019年6月8日(土)、6月15日(土)10:30-13:00  
対象：どなたでも  
定員：各日7名 事前申込制 応募多数の場合は抽選  
参加費：500円(別途本展観覧チケットが必要です)  
\*申込方法など詳細は当館ホームページでご確認ください。

### W.ユージン・スミス〈カントリー・ドクター〉1948年

写真週刊誌『LIFE』1948年9月20日号で発表されたこの作品は、ドキュメンタリー写真の第一人者である作家がヒューマンイズムの視点から取材・撮影した社会派フォトエッセイの名作とされる。人口約2000人の田舎町コロラド州クレムリングのたった一人の医師アーネスト・セリアーニの多忙な生活と仕事をテーマとした作品。

### 奈良原一高〈人間の土地 緑なき島—軍艦島〉1954-57年

明治から昭和時代に海底炭鉱で栄えた長崎の島、端島(通称・軍艦島)。主要エネルギーが石炭から石油へ移行したことによって1974年に閉山、無人島となる。2015年世界文化遺産に登録される。

当時新進気鋭の作家による同シリーズは、かつての活気に満ちていた島の情景をとらえた貴重な記録であるとともに、外界から隔絶された世界で「限界状況を生き続ける人間の生」という作家自身の抱いたイメージが強く投影されている。

### 内藤正敏〈出羽三山〉1980-82年

修験道の聖地、出羽三山の宗教世界とその祭祀について、作家自らが修行者となってこの地に入り込み、取材した写真シリーズ。作家自身による民俗学的な論考や「内藤正敏 異界出現」展(2018年)開催時に明らかになった作品制作にまつわるエピソードをまじえて紹介する。同シリーズは1983年土門拳賞受賞作品。

### 山崎博〈Ten Points Heliography〉1982年

作家の代表作で「太陽が描く画」というコンセプトによる長時間露光の写真シリーズ〈Heliography〉。〈Ten Points Heliography〉は、作家が手がけた一連の〈Heliography〉作品の最終形であったが、今日では忘れられてしまった「幻の作品」。36年前、調布周辺を中心に都内10カ所を同時刻に二日間にわたり撮影された、この作品の壮大なコンセプトと制作過程に迫る。

東京都写真美術館  
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3  
恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel 03-3280-0099  
www.topmuseum.jp



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
当館には駐車場はございません、近隣の有料駐車場をご利用ください。